

2017年10月期 決算説明会

2017年12月21日

 **クミアイ化学工業株式会社**

本日のアジェンダ

- I. 市場環境
- II. 2017年10月期 期末実績
- III. 2018年10月期 事業計画
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. 当社のCSR活動報告
- VI. 質疑応答

I. 市場環境

II. 2017年10月期 期末実績

III. 2018年10月期 事業計画

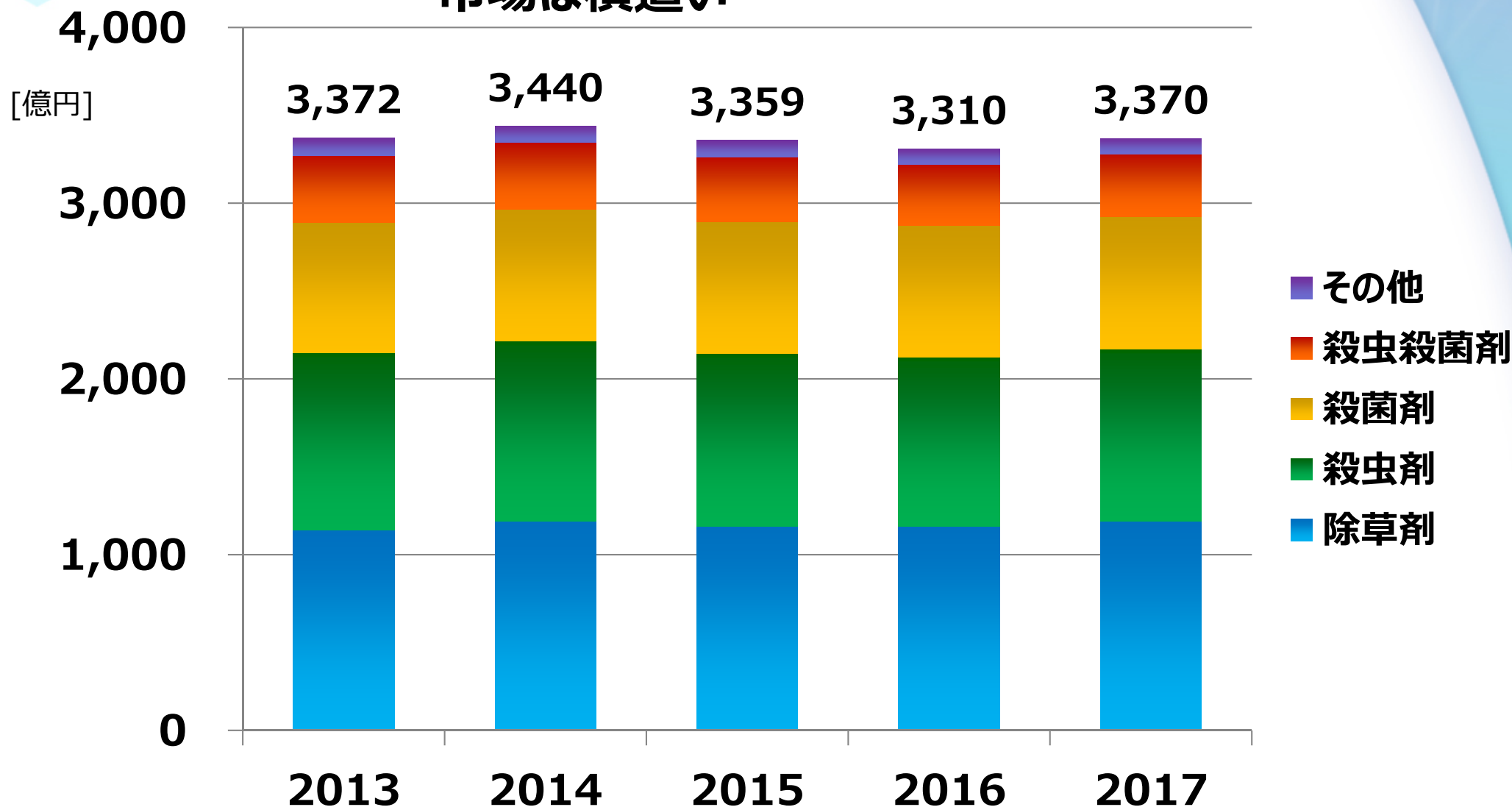
IV. 中期経営計画達成に向けて

V. 当社のCSR活動報告

VI. 質疑応答

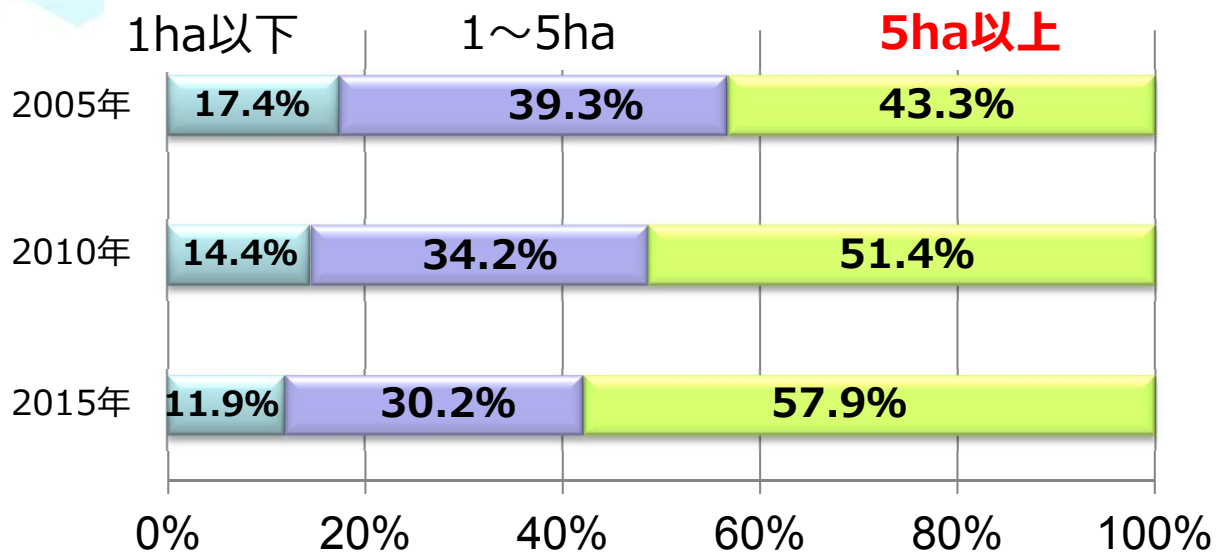
国内農薬市場の動向

市場は横這い



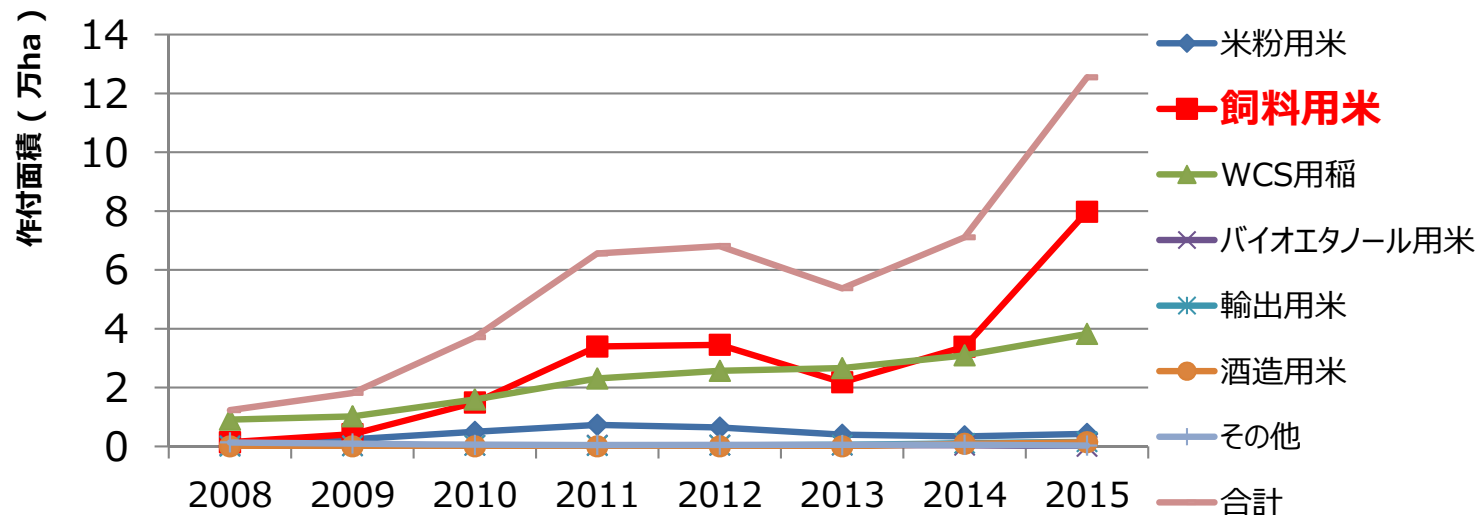
国内農業情勢

経営耕地の集約化



政府目標
大型農家・法人の増加
16,000法人
↓
50,000法人
(2020年)

新規需要米の生産量の推移



全農目標
飼料用米作付面積の増加
10万ha
↓
21万ha
(2020年)

国内農業情勢

農業資材の集約化（農薬）

閣議決定

- 農業競争力強化プログラム（2016.11.29）
- 1. 生産資材費の引き下げ、2. 全農改革

全農

- 農林水産業・地域の活力創造プランに係る全農自己改革
- 1. ジェネリック農薬、2. 品目集約、3. 担い手直送規格

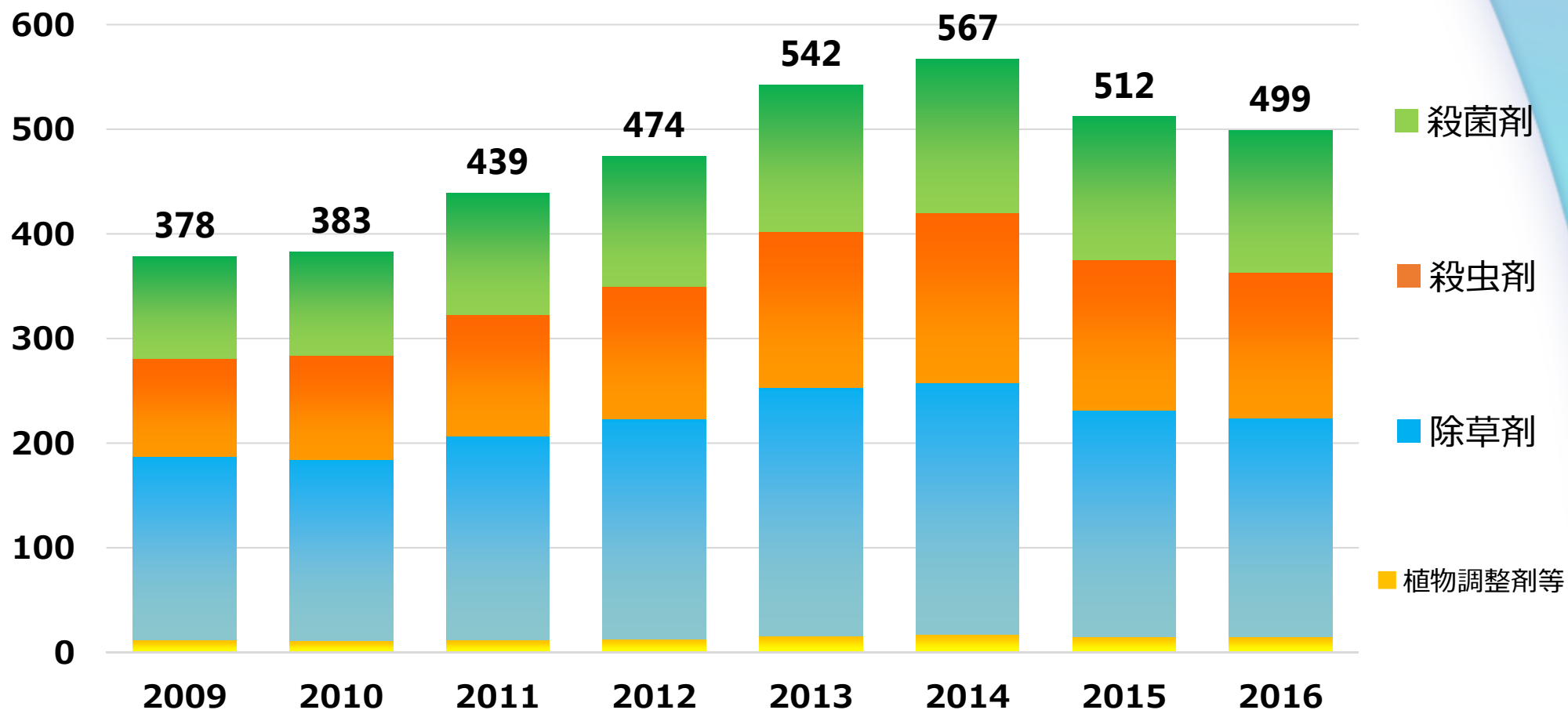
当社の
取組み

農薬は高品質な農産物を作るために必要不可欠な資材
生産性向上や省力化技術への取組み

世界の農薬市場の動向

長期的には拡大トレンドも近年足踏み

[億ドル]



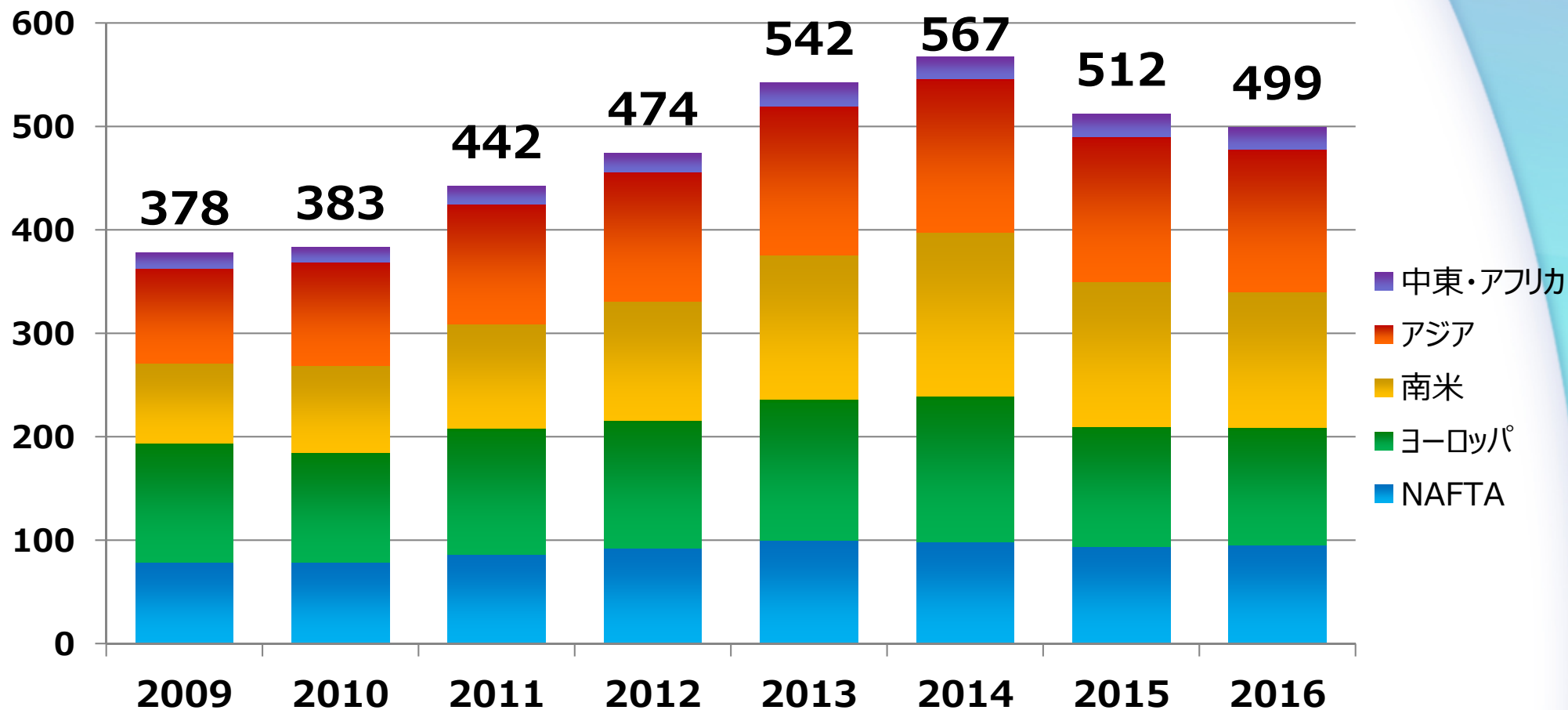
種子・バイテク製品を除く

出典 : Phillips McDougall

世界の農薬市場の動向

新興国市場の需要拡大にシフト

[億ドル]



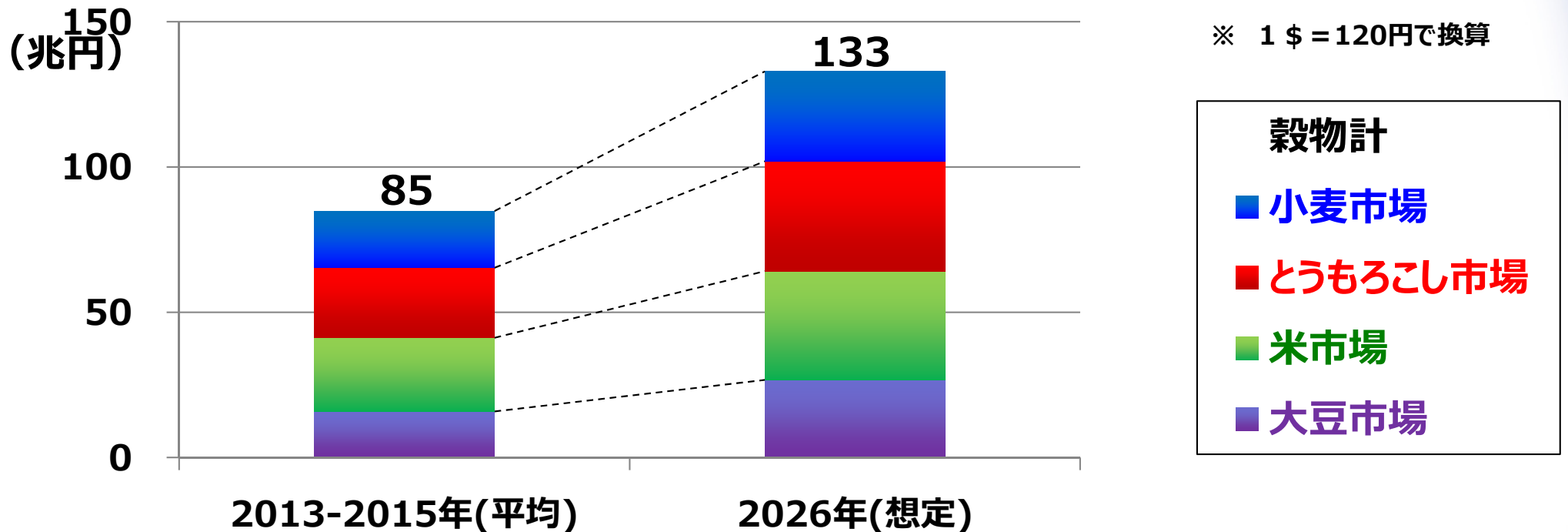
種子・バイテク製品を除く

出典 : Phillips McDougall

世界の穀物別市場の動向

消費量・価格共に伸びが見込まれる

	消費量(百万トン)		国際価格(\$/トン)	
	2013-2015年 (平均)	2026年 (想定)	2013-2015年 (平均)	2026年 (想定)
小麦	705	840	231	307
とうもろこし	970	1,142	207	276
米	478	556	442	561
大豆	300	375	441	594



I. 市場環境

II. 2017年10月期 期末実績

III. 2018年10月期 事業計画

IV. 中期経営計画達成に向けて

V. 当社のCSR活動報告

VI. 質疑応答

期末連結業績 2017年10月期

前年対比

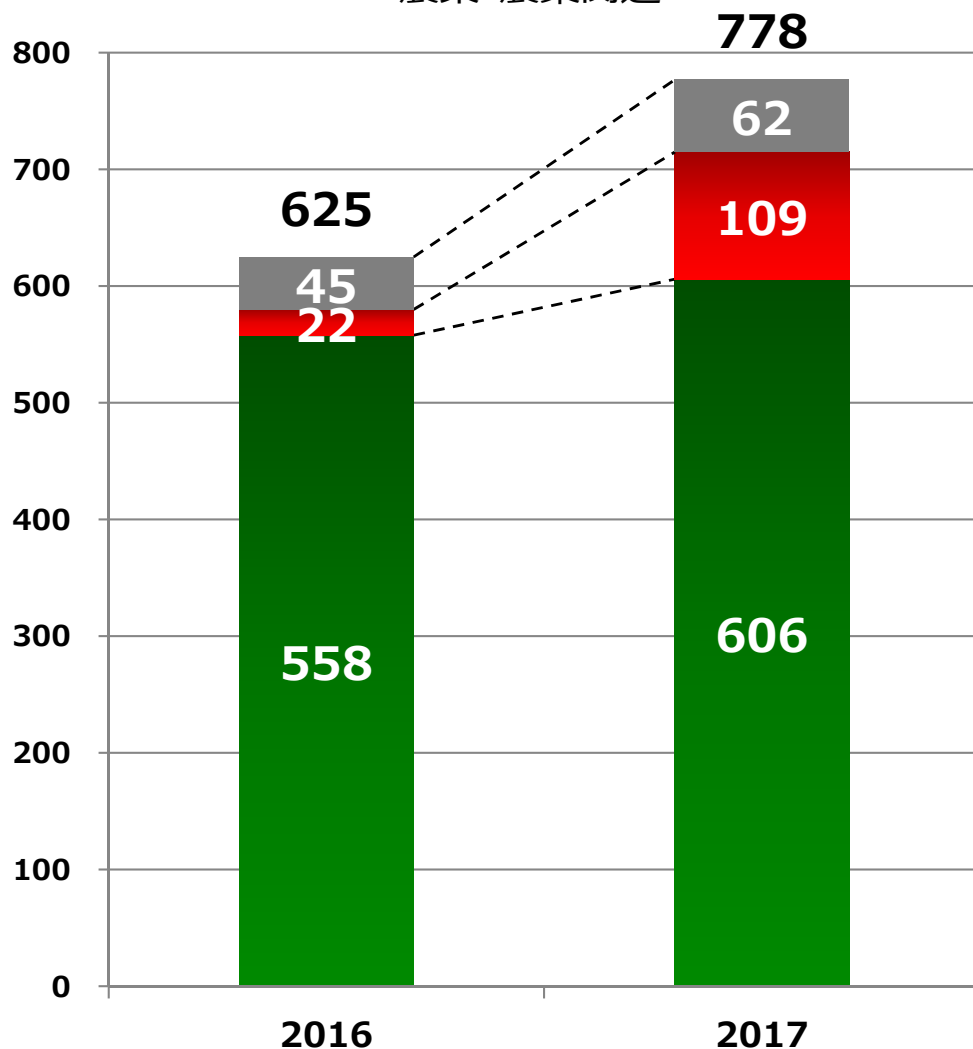
[億円]	2016 実績	2017 実績	増減額	増減率
売上高	625	778	+153	+24.4%
営業利益	23	38	+15	+66.0%
経常利益	45	74	+30	+66.2%
当期純利益 *	34	73	+38	+111.9%

*親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高

連結売上高
 [億円]

- その他
- 化成品
- 農薬・農業関連



農薬・農業関連

+48億円
 9%up

非農耕地分野の増加
 受託加工品の増加

化成品

+87億円
 395%up

連結子会社の化成品販売品目の増加

その他

+17億円
 38%up

連結子会社のその他事業の増加

セグメント別売上高

(連結)

農薬・農業関連 ↑

国内向け 水稲用除草剤 ↓
 ・フェノキサスルホン剤 ↑
 ・上記の混合剤 ↑
 ・トップガン剤 ↓

水稲用箱処理剤 →

園芸用殺菌剤 ↑

園芸用殺虫剤 ↑

芝用除草剤 ↑

海外向け 畑作用除草剤 ↓
 (アクシーブ剤等)

水稲用除草剤 ↓
 (ノミニー剤等)

化成品 ↑

合併により加わったイハラ建成、イハラケミカル
 連結子会社からの継承による増

イハラ建成工業 (発泡スチロール) ↑
 イハラニッケイ化学工業
 (トルエン・キシレン誘導体) ↑

その他 ↑

建設事業 ↑

賃貸事業 →

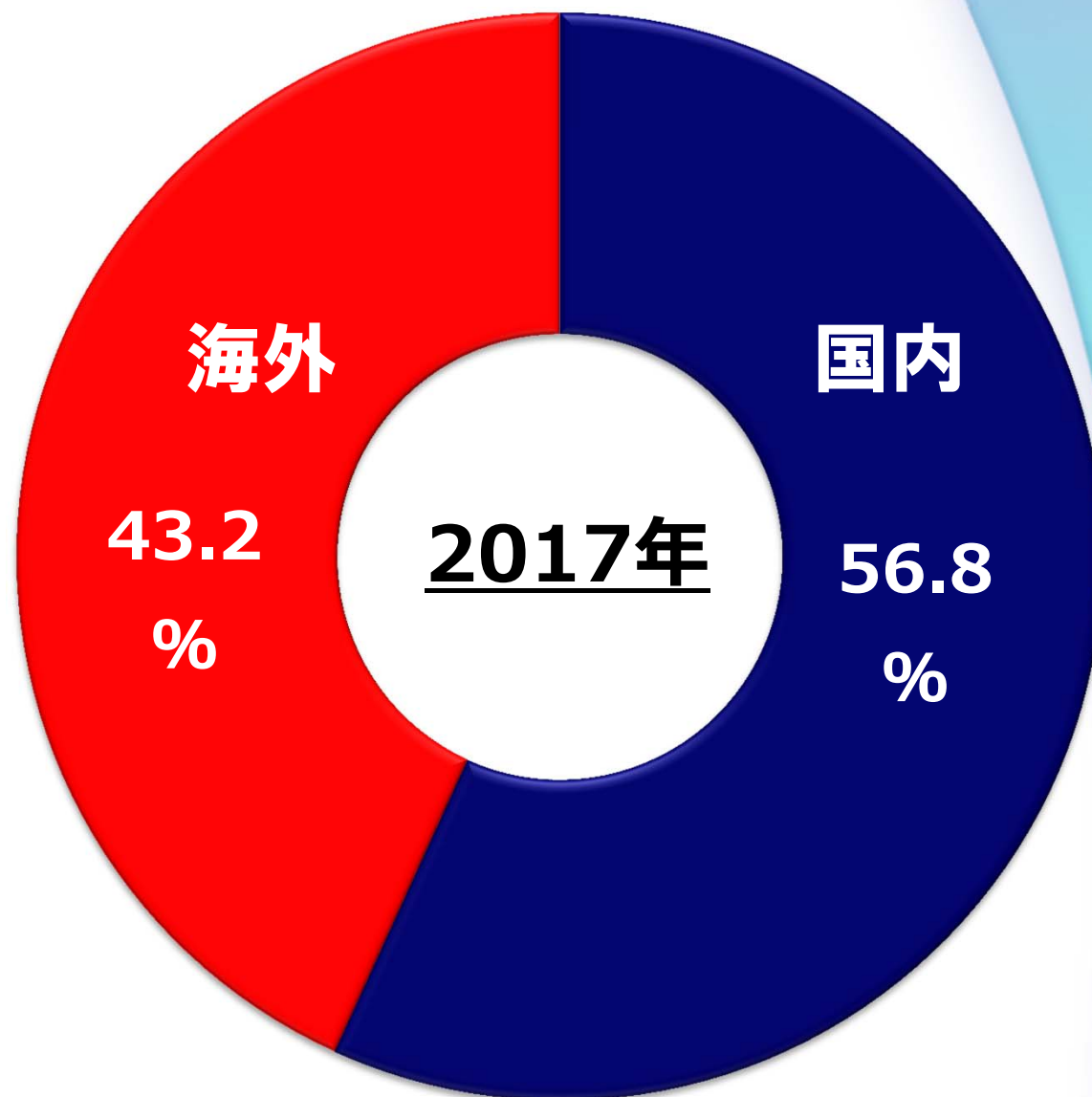
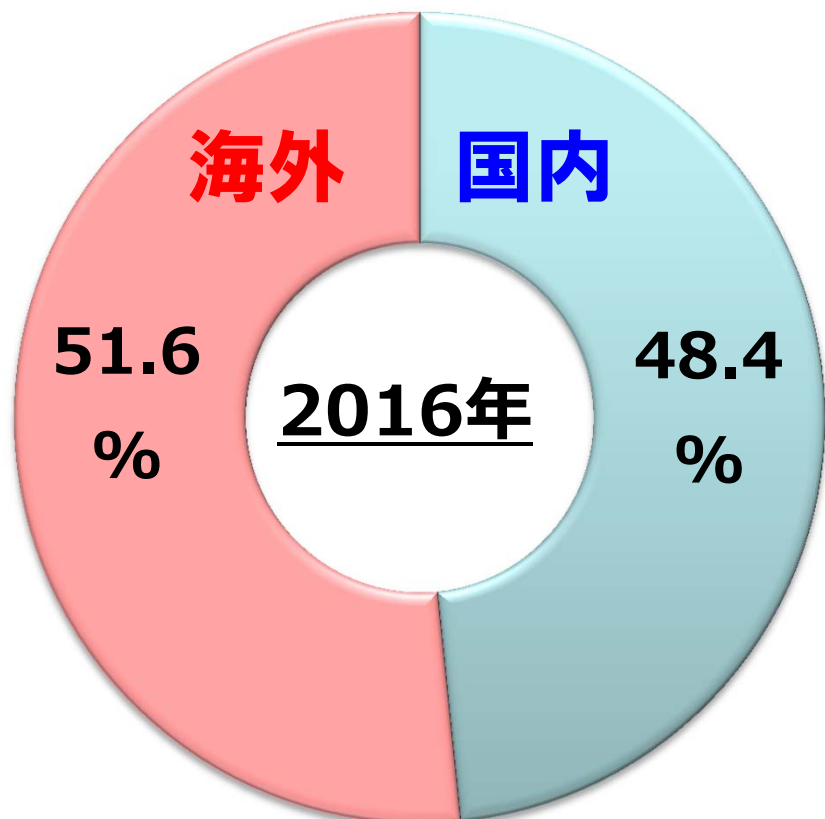
売電収入 ↑

印刷 ↑

物流 ↑

国内外別売上高比率

国内比率の増加： 経営統合により国内販売主体の連結子会社が新たに加わったため



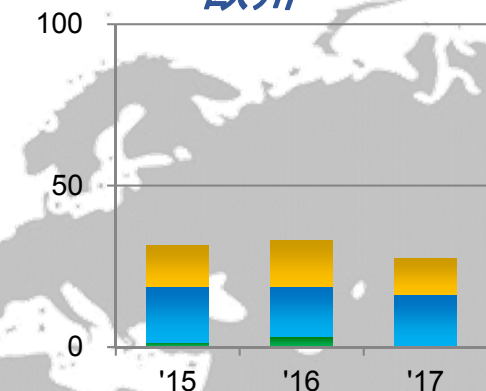
海外地域別・種類別売上高 2017年度10月期

(個別)

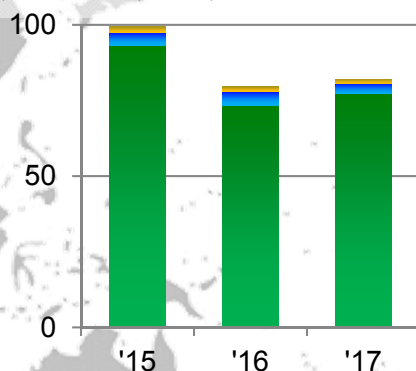
北米

[億円]

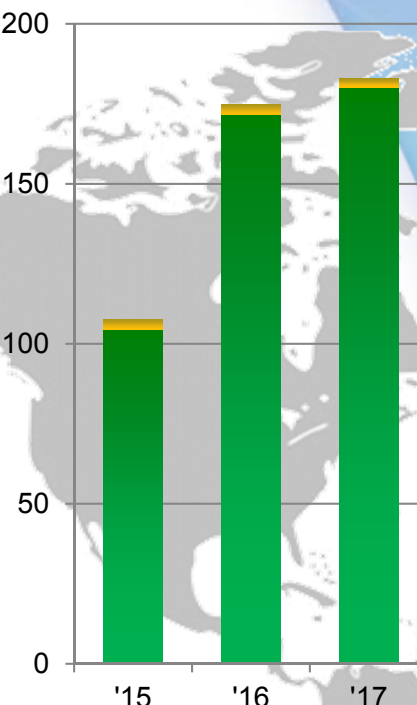
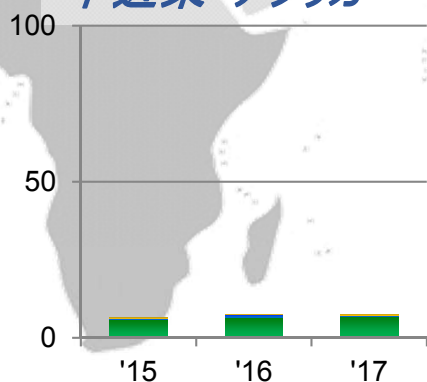
欧州



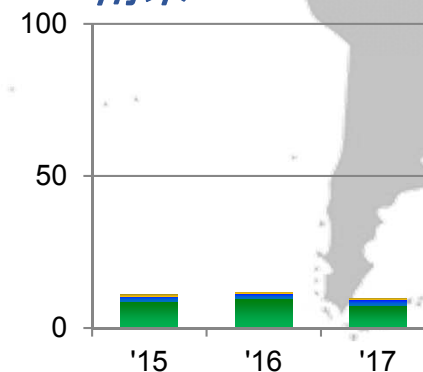
アジア・オセアニア (国内除く)



中近東・アフリカ

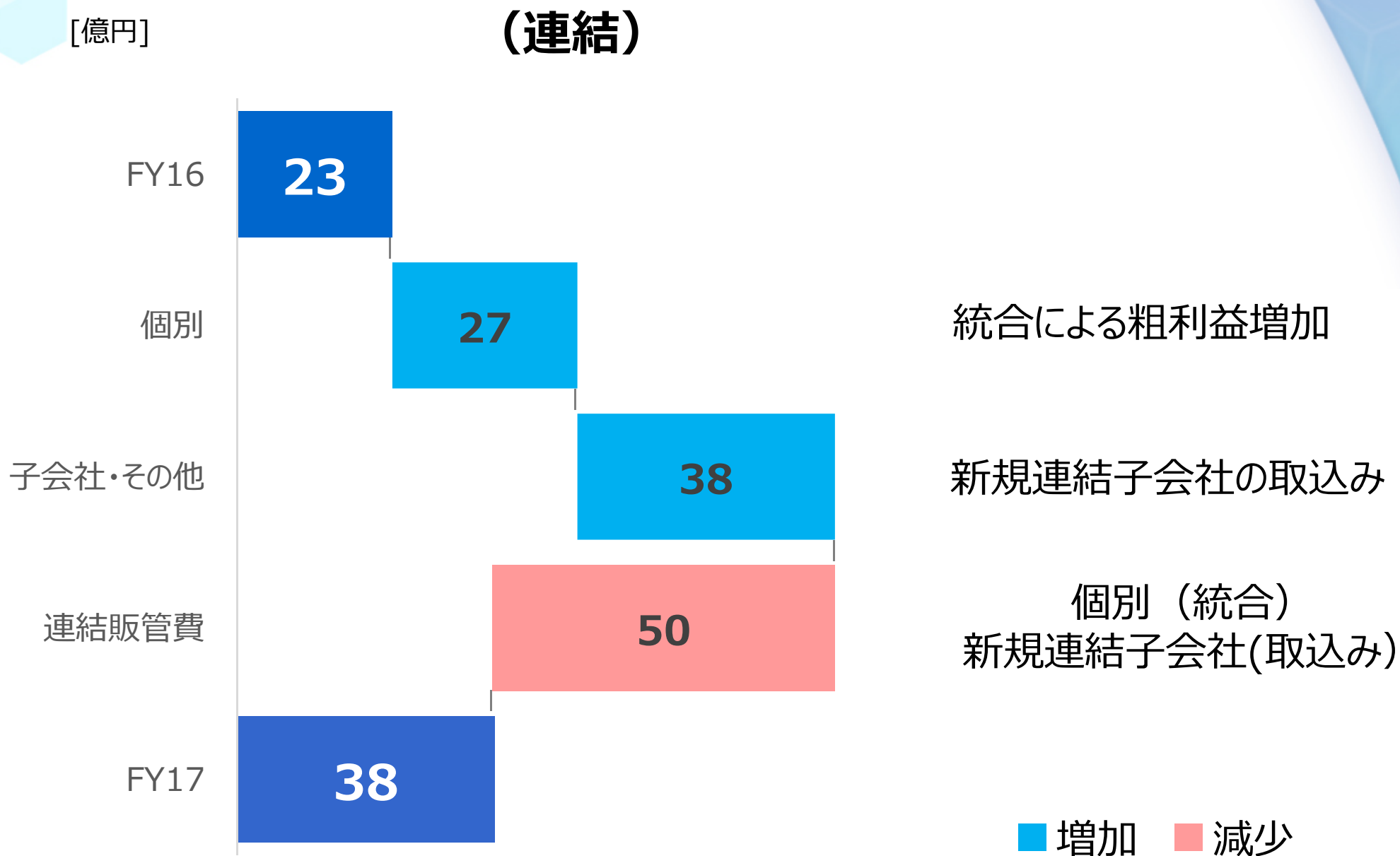


南米



■ 除草剤
 ■ 殺菌剤
 ■ 植物調整剤等

営業利益増加要因 (2016-2017年実績)



- I. 市場環境
- II. 2017年10月期 期末実績
- III. 2018年10月期 事業計画**
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. 当社のCSR活動報告
- VI. 質疑応答

連結業績予想(2018年10月期)

[億円]

	2017 実績	2018 予想	増減額	特記事項
売上高	778	950	+172	イハラケミカルとの統合効果 (2017.5~)
営業利益	38	46	+8	
経常利益	74	64	-10	持分法投資利益の減少
当期純利益*	73	45	-28	2017.10月期負ののれん計上

*親会社株主に帰属する当期純利益

2018年度の事業活動

国内市場

1. 水稲剤拡販強化

- 一発処理除草剤シェア奪回
- 「エフィーダ」ブランドの早期最大化に向けた取組み
- 箱処理剤の継続的拡販
- 新規殺菌剤「ナエファイン剤」⇒新分野へ参入

2. 利益性改善が見込まれる自社剤の拡販

- フェノキサスルホンとピリミスルファンとの混合剤の拡販
- ファンタジスタの新規作物拡大場面での普及拡販

3. 大型農家、農業生産法人への深耕

- 担い手直送規格の拡充
- 農機メーカーと連携した新規ビジネスモデルの構築

2018年度の事業活動

海外市場

1. アクシーブの拡販

- 米国 トウモロコシ市場でのシェア拡大
- アルゼンチンでの販売の垂直立ち上げ
- 登録予定国における円滑な上市支援

2. ノミニーの維持

- ジェネリック対策
- インド合併会社での製造及び販売開始

2018年度の事業活動

化成品

1. ウレタン事業関連

- 防水剤用ウレタン硬化剤MOCAの代替剤開発
- 環境対応型製品の販売

2. 高機能性樹脂関連

- 高機能性樹脂の更なる拡販
- **タイ拠点**での製造及び販売開始

3. その他

- 電子部材の新規受託テーマ獲得
- 既存テーマの更なる深耕

I. 市場環境

II. 2017年10月期 期末実績

III. 2018年10月期 事業計画

IV. 中期経営計画達成に向けて

V. 当社のCSR活動報告

VI. 質疑応答

中期経営計画売上高推移

スローガン

Speed

Cost

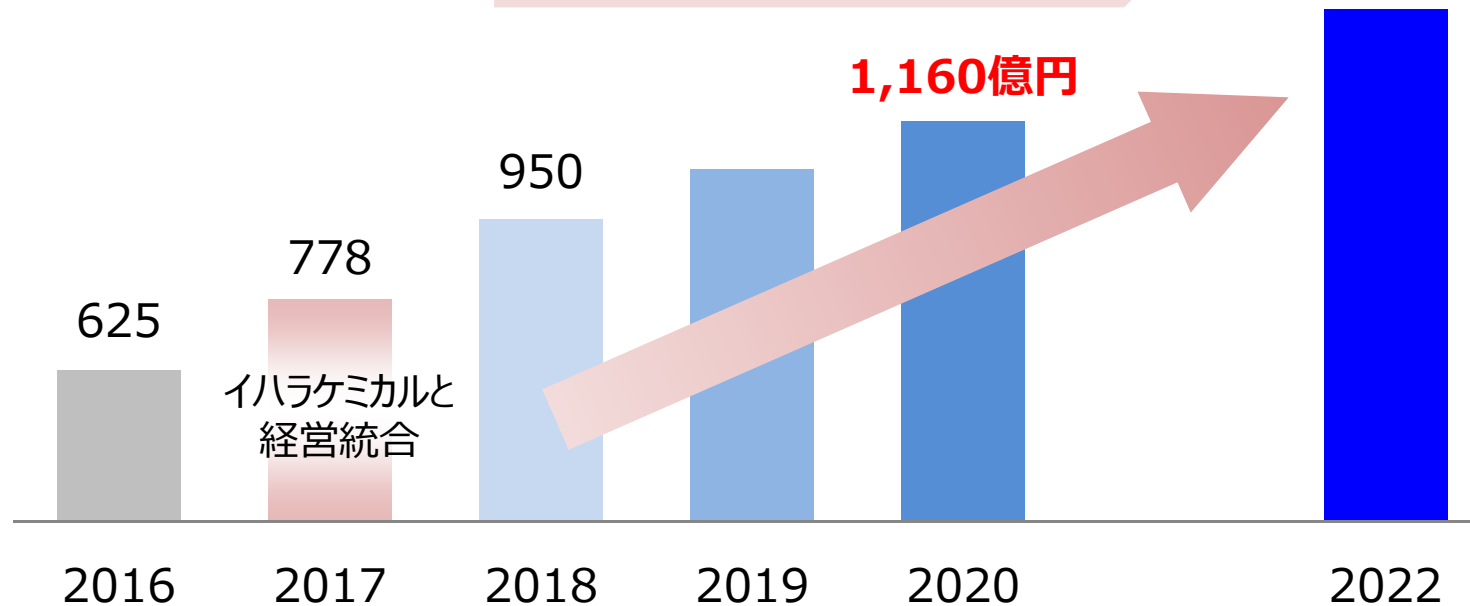
Innovation

2018 中期経営計画

– Create the Future 未来を拓く –

- ・ アクシーブ販売地域拡大
- ・ エフィーダ上市
- ・ 化成品事業の成長基盤構築
- ・ M&A 事業提携

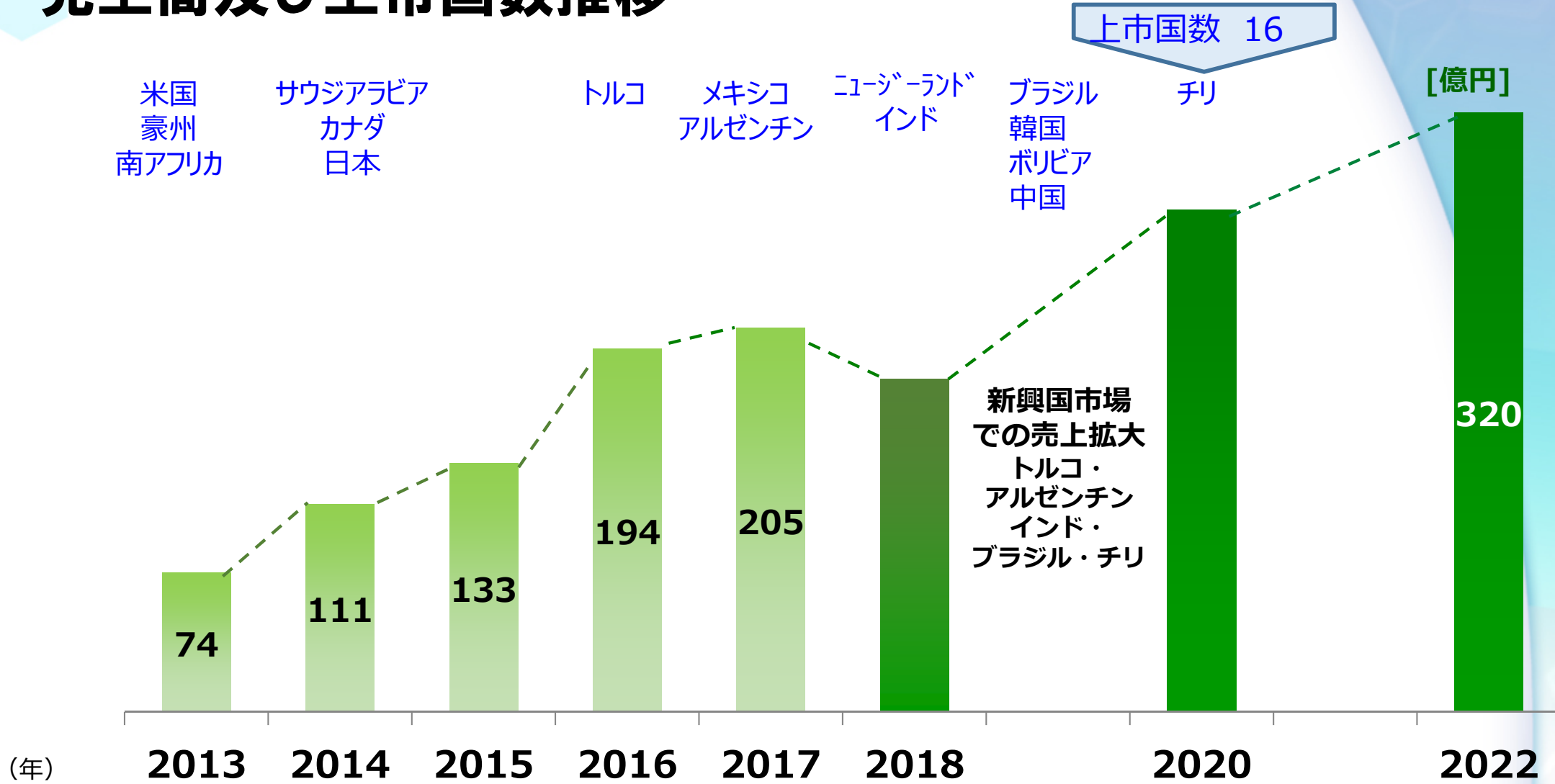
長期ビジョン
売上 1,400億円



1. アクシーブ剤について

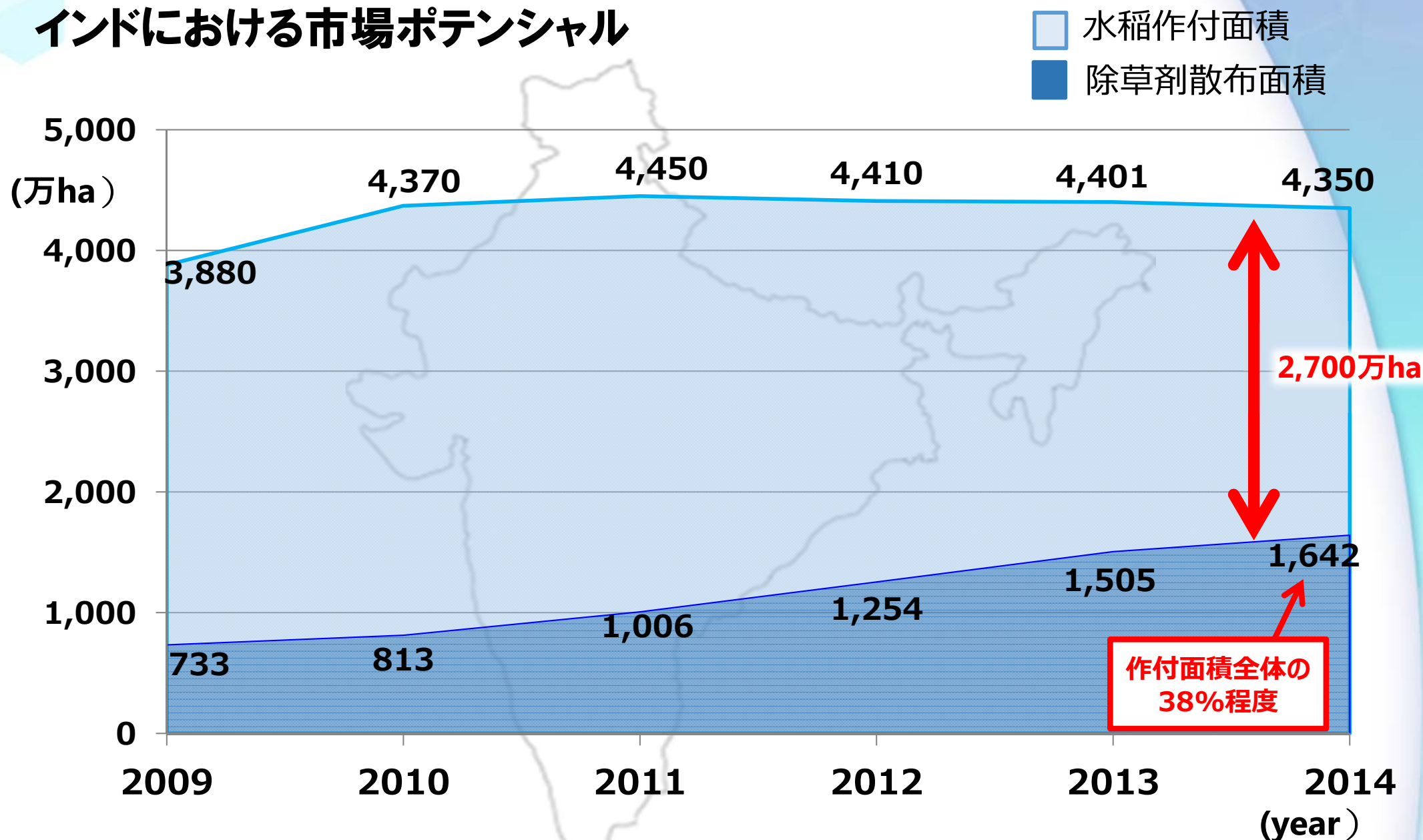
売上高及び上市国数推移

(個別)



2. ノミニー剤について

インドにおける市場ポテンシャル



2. ノミニー剤について

インドJV設立



契約調印式の様子



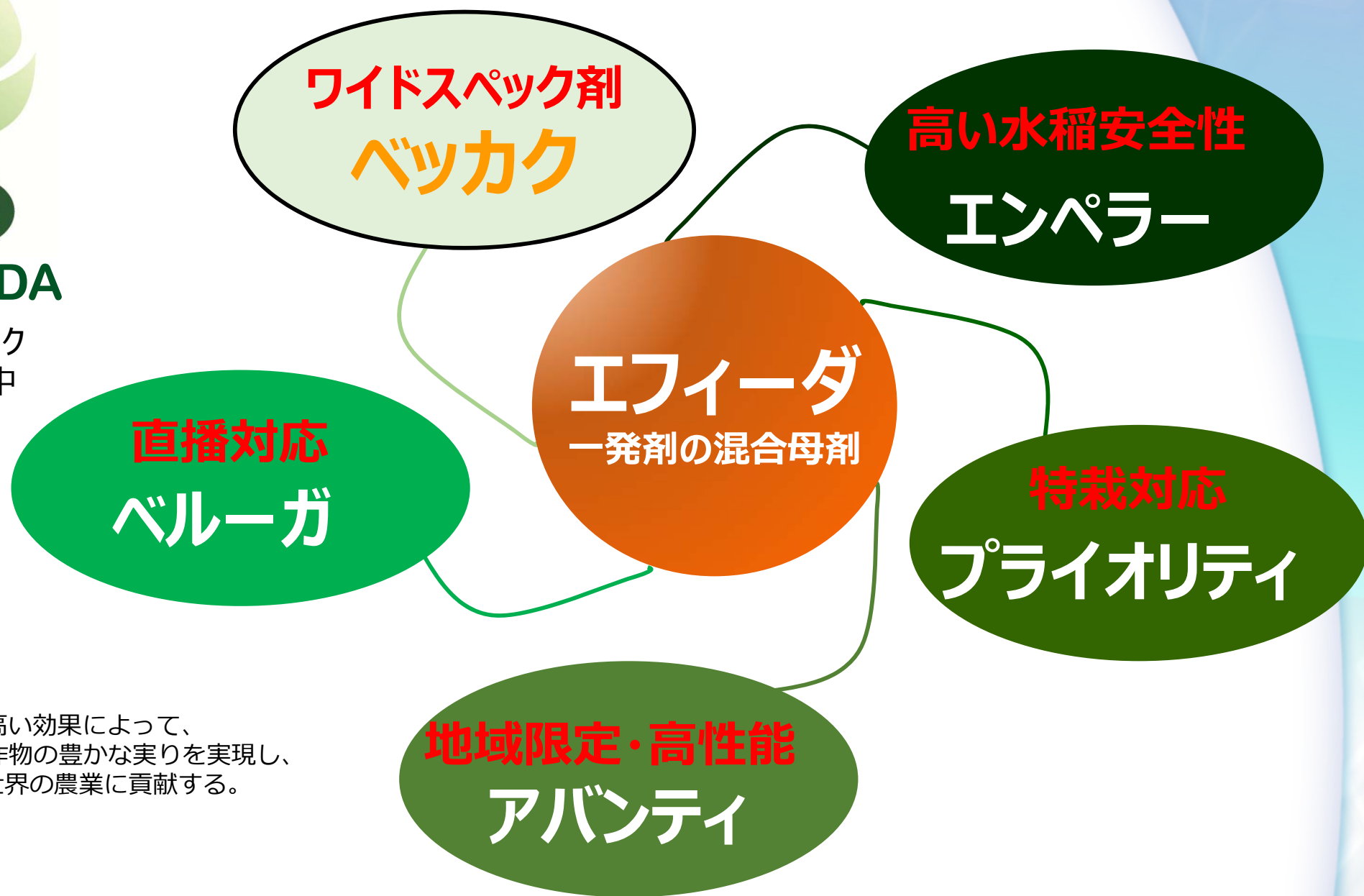
左:当社 代表取締役 小池 好智
右:PI社 Managing Director &CEO Mayank Singhal

3. エフィーダ剤について

ラインナップ



シンボルマーク
登録申請中



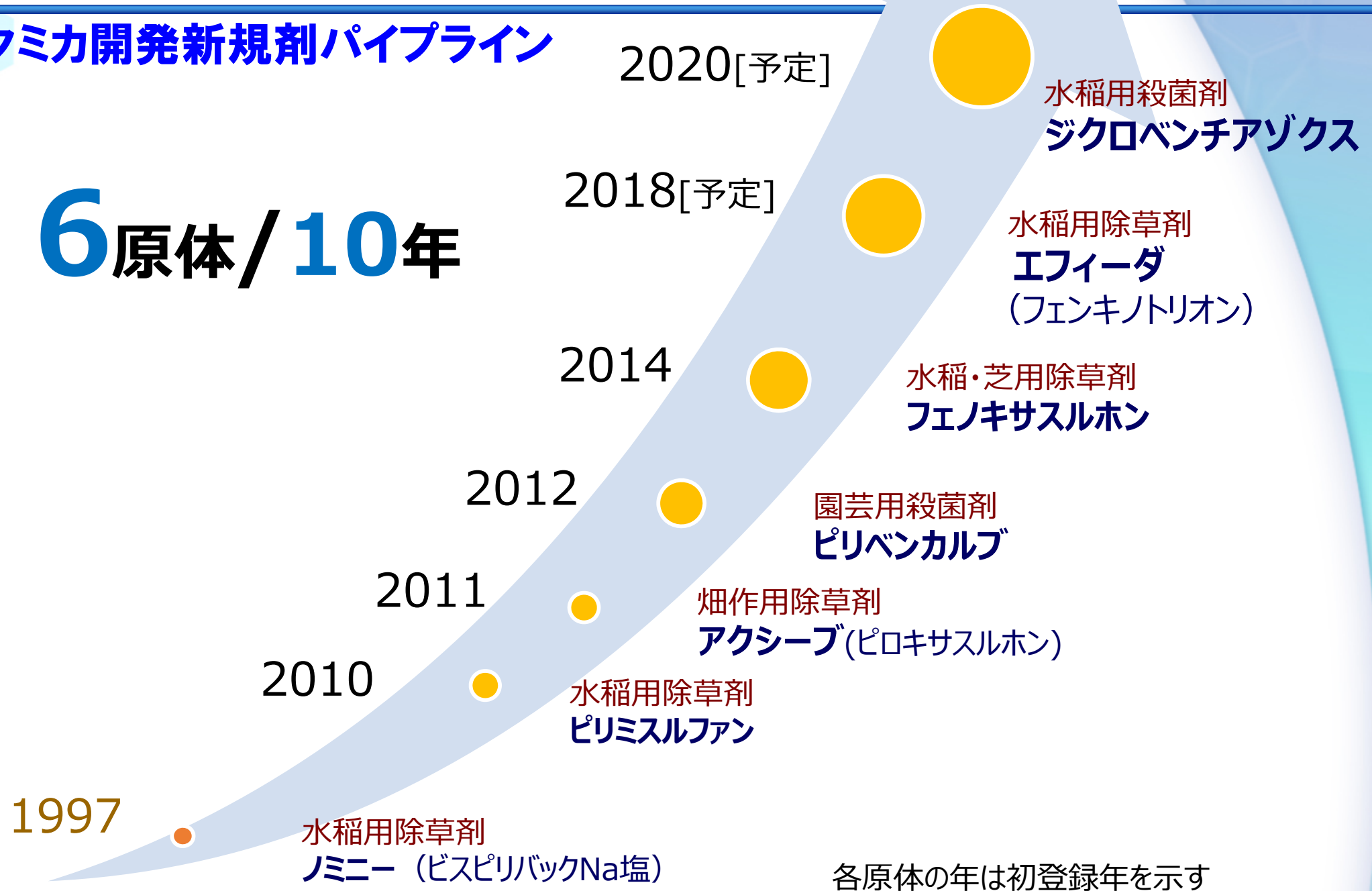
Effective: 高い効果によって、
Fecund : 作物の豊かな実りを実現し、
Agriculture: 世界の農業に貢献する。

成長戦略

1. 自社開発新規剤の推進

クミカ開発新規剤パイプライン

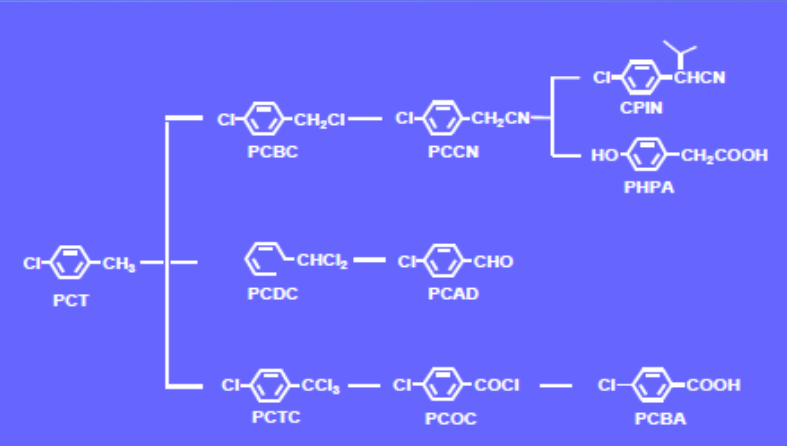
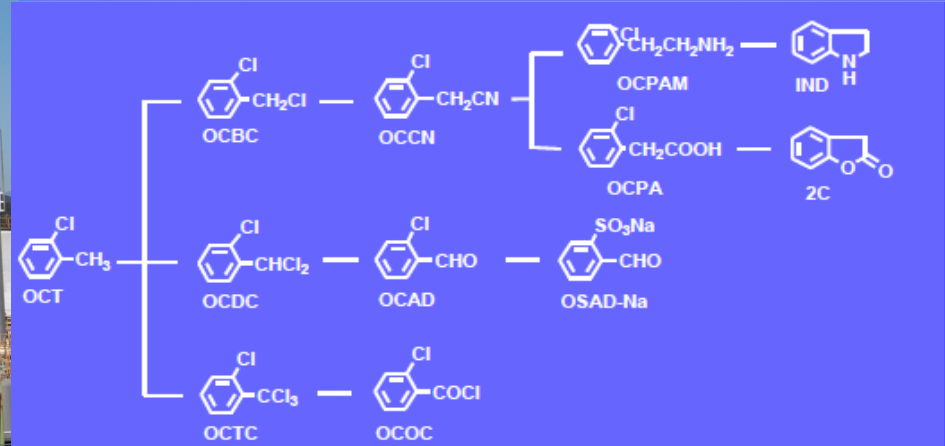
6原体 / **10**年



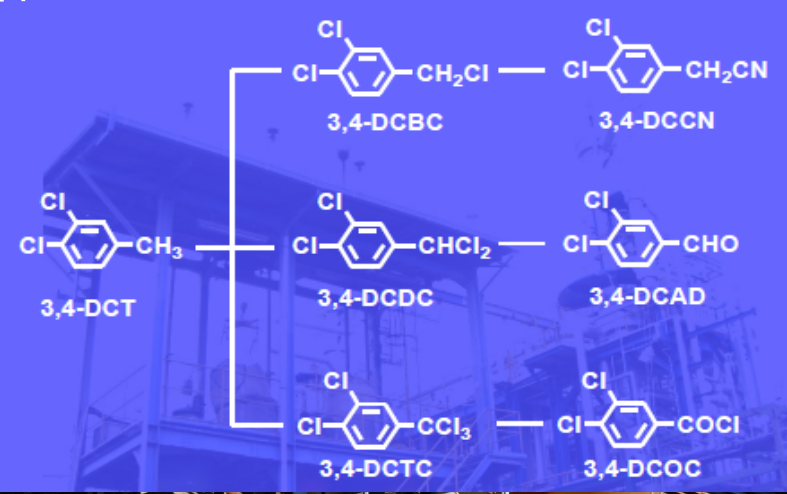
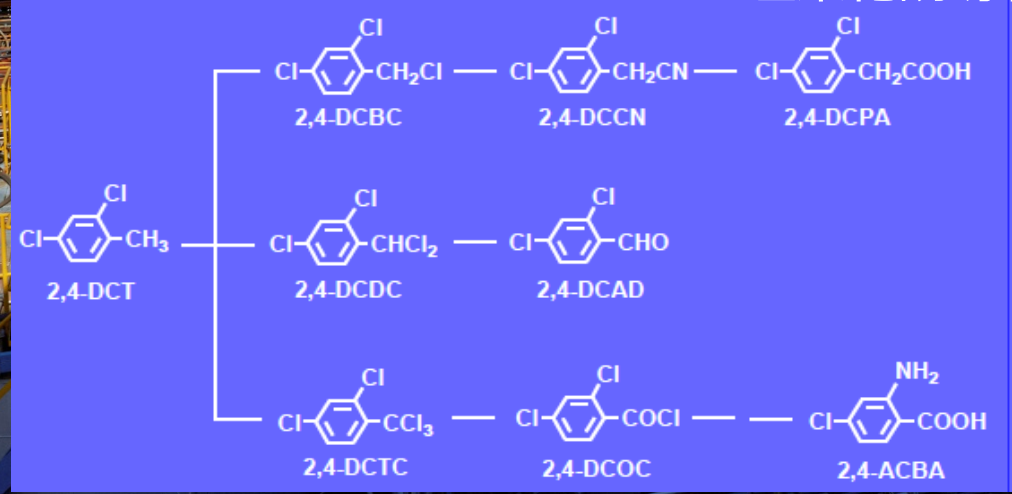
各原体の年は初登録年を示す

成長戦略 2. ファインケミカルの強化

ファインケミカルのパイオニア



塩素化誘導体



成長戦略 2. ファインケミカルの強化

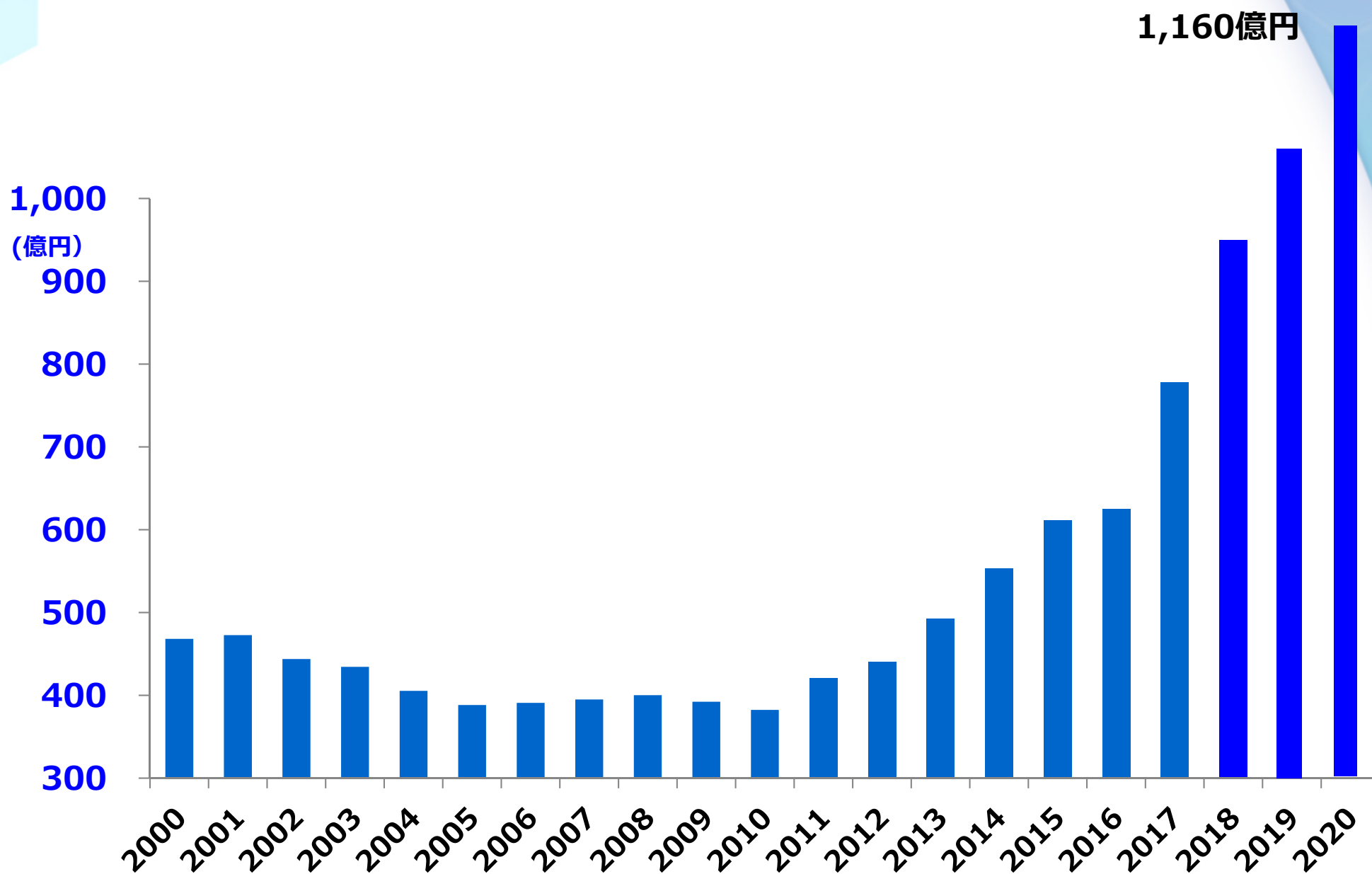
**ケイ・アイ化成 新プラント建設
2016年～本格稼働開始**



**イハラニッケイタイランド 工場新設写真
2018年夏～稼働予定**



売上高推移（連結）



経営統合のシナジー

迅速な 意思決定

意

- 農薬の創製から研究・開発、原体の製造・調達、製剤、販売に至るプロセスを一体化（創薬研究所の設立）
- ジェネリック対策に向けたインド合併会社の設立

生産調達の 最適化

- グループ会社を含めたグローバル調達体制の強化
- 自社開発剤の利益率が向上

事業領域 の拡大 (化成品事業)

- 農薬原体製造で培った有機合成技術を駆使
- 新商品開発・新規事業創生への取組み

コストシナジー の実現

- 米国の複数拠点を集約
- 各種インフラ共有化、重複機能解消に向けた取組み

- I. 市場環境
- II. 2017年10月期 期末実績
- III. 2018年10月期 事業計画
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. 当社のCSR活動報告**
- VI. 質疑応答



環境 活動報告

どんぐりプロジェクト®参加 【宮城県海岸林再生活動】

どんぐりプロジェクト®は東京ガス(株)の登録商標です

北海道森林保護活動

北海道に保有する山林640haの維持・管理を通じた、良質な木材の供給 並びに、温室効果ガスの削減や水産資源のかん養に資するなど、自然環境の保全に貢献

せんがまち棚田保全活動

静岡県菊川市の棚田保全活動団体「せんがまち棚田倶楽部」の賛助会員としてこの活動を支援

事業拠点を中心とした地域環境美化活動



写真の棚田は、クミアイ化学工業が賛助会員として支援する静岡県菊川市のせんがまち棚田です。

いのちと自然を守り育てること
私たちの変わらぬ永遠のテーマです。

クミアイ化学工業は、「いのちと自然を守り育てる」のテーマのもと、地球規模の問題である「食料の確保」および「環境の保全」に貢献できる企業を目指して、日々挑戦しております。安心・安全な農業生産に寄与し、豊かな自然環境を未来の世代に残すため、私たちは行動しております。

代表取締役社長 小池好智



クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 03-3822-5036 <http://www.kumiai-chem.co.jp>





社会 活動報告

学生懸賞論文



第6回 学生懸賞論文募集

テーマ
日本の農業の未来
魅力ある農業の創造

働き方改革への取組み

1. ワークライフバランスの実現に向け

- ・適切な労働時間の管理
- ・総労働時間の削減

(ノー残業デー・年間所定労働時間の削減、長時間残業の抑止等)



2. ダイバーシティの推進

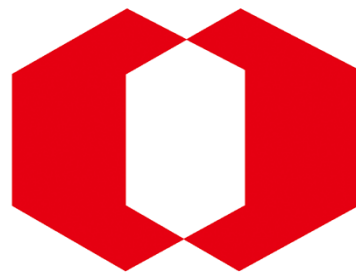
女性、障害者、高齢者、外国籍就労者の活躍推進



ご清聴ありがとうございました。



自然に学び 自然を守る



クミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社

経営管理本部 総務部

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

E-Mail: soumu@kumiai-chem.co.jp

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>